

- ▶ 昨年度に引き続き、令和8年度においても保険料水準統一加速化プロジェクトチームのアドバイザーとして活動する中で、厚生労働省と、保険料水準統一の維持・継続に向けた課題等について意見交換（令和8年5月29日）を実施。

意見交換の内容

1 保険料水準統一の維持・継続に向けた課題

- ◆ 保険料水準統一を維持・継続していくための制度的担保の必要性
- ◆ 保険料水準統一を維持・継続していくための制度的担保を補う仕組みの構築

- ・ 保険料水準完全統一達成については、保険者努力支援制度における評価点の大幅な引き上げにより財政的メリットを与える仕組みが設けられている。
- ・ 一方で、統一達成団体に対する激変緩和措置のための財政支援は3年間の限定的措置となっていることから、制度的担保の仕組みが構築されるまでの間、統一を維持するためには、統一団体への新たな支援の仕組みの構築が不可欠。
- ・ そのため、現行の統一達成団体に対する激変緩和措置のための財政支援と同規模の支援を含め、統一維持に資する支援の仕組みについて、さらなる拡充を検討いただきたい。

2 令和7年度における制度改正等による課題

- ◆ 前期高齢者交付金のシステム誤りによる令和9年度保険料算定の影響への対応が必要

- ・ 令和9年度保険料算定への影響を踏まえ、被保険者への過度な負担を緩和するための激変緩和措置を検討いただきたい。

- ◆ 出産育児一時金に係る一般会計繰入及び地方財政措置の廃止への対応が必要

- ・ 出産の標準的な費用に係る給付体系の見直し等が検討されているが、それまでの移行期間において、被保険者の負担増が生じている状況を緩和する方策を検討いただきたい。

3 国保が抱える構造的課題

- ◆ 高い保険料負担という構造的課題の解消に向けた対応が必要

- ・ 国保が抱える構造的課題の解消に向けた対応を検討いただきたい。